

科学研究費補助金（特別推進研究）事後評価結果

課題番号	16002011	研究期間	平成16年度～平成20年度
研究課題名	造血幹細胞ニッチと細胞分裂制御		
研究代表者名 (所属・職)	須田 年生（慶應義塾大学・医学部・教授）		

【平成22年度 事後評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	期待以上の研究の進展があった
○	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い
（評価意見）		
<p>本研究は、造血幹細胞がどのように維持され、動員されるのかを理解すること、また、より有効な骨髄移植や幹細胞を守る抗癌剤治療の基盤情報を得ることを目的としている。</p> <p>本研究の推進により、造血幹細胞ニッチの同定、静止期幹細胞維持のニッチシグナルの解析で優れた研究成果を挙げた。それとともに、ニッチ制御による骨髄移植の効率化や、低酸素性代謝スイッチによる幹細胞機能の増幅など、臨床応用の可能性を期待させる研究成果を挙げている。</p> <p>本研究は極めて順調に進展し、幹細胞研究分野の発展に重要な貢献をなしたと評価できる。</p>		